

さっきは、各クラスの人から、2学期の思い出を話してもらいました。みんなとてもしっかり話すことができていました。

校長先生の一番の思い出は、やっぱり何と言っても50周年の記念行事です。卒業生や元職員の皆さんからも「とても良かった」というおほめの言葉をたくさんいただきました。特に全校児童が元気に歌っている様子や、笑顔で過ごしている様子がとても良かった、という声をたくさん聞きました。さっき、6年生の人から「浮野小学校の伝統を大事にして」という言葉が聞かれましたが、皆さんが、浮野小の昔の様子に興味をもってくれたのならうれしく思います。

さて、今日で2学期も終わり、明日からは冬休みです。校長先生からは冬休みに、ぜひとも皆さんにやってほしいことを2つ話します。

1つ目は、「家族や親戚の人たちと、たくさんお話しをしてほしい」ということです。皆さんは、さっき各クラスの人が発表したような、学校でがんばっていることや、思い出に残っていることを、家族の人たちに話していますか？冬休みは、大人も仕事がお休みになることが多いです。また、親戚の人たちと集まることが多くあります。ぜひ、家族や親戚の人たちに、学校のことや自分のことを話してほしいです。また、逆に、家族や親戚の人たちの話もたくさん聞いてほしいです。校長先生は、今はなくなってしまったおじいちゃんが、お正月に、戦争に行った話をしてくれたことがとても印象に残っています。昔のことを聞くのはとてもおもしろいです。

冬休みにやってほしいことの2つ目は、「家のお手伝い」です。冬休みは、クリスマスや年末の大掃除やお正月など、大人はとても忙しいことがたくさんあります。ぜひ自分から、家族の人たちに「何か手伝えることはない？」と聞いてみてください。皆さんが手伝ってくれれば、とても助かるうれしいです。

体に気をつけて、3学期また元気な姿で会えることを楽しみにしています。以上で終わります。